

『あきた体験農園』の取り組み状況

－ 耕作放棄地の再生へ －



秋田市仁井田に地域住民参加型の体験農園が平成22年度にオープンして、4年目となりました。この場所は、長年「耕作放棄地」になっていた所で、農地再生への取組として、活動当初から各種野菜、もち米などを栽培。地域住民の参加（ボランティア活動）による共同作業を基本に耕起から植付け、草取り、収穫などの春から秋までの一連の作業を、会員を中心に行っています。

会員数は年々増えて、今年度は39名。地元、仁井田地域の「あおぞら保育園」に参加頂いたほか、来年度には「大住小学校」などとも連携して活動を行っていく予定です。土地の所有者からの借り上げ期間は平成27年3月まで（5ヶ年計画）。耕作放棄地の解消・再生はもちろんですが、これまで4年間取り組んで、地域住民や地域の子供会などが共同作業を行うことから、世代を越えた地域の交流も生まれています。平成26年度も「あきた体験農園」は、地域住民、教育機関との連携を図り、農業体験を通じた食育コミュニティの普及に取り組んでいきたいと思ひます。

《平成25年度年間作業実績》

4月	・肥料散布、トラクター耕起作業
5月	・「ジャガイモ」畝づくり、植え付け作業 ・「サツマイモ」畝づくり、植え付け作業 ・「枝豆（湯上がり娘）」植え付け作業 ・「カボチャ」植え付け作業
6月	・「里いも」畝づくり、植え付け作業
7月	・「ジャガイモ」の収穫
8月	・「枝豆（湯上がり娘）」早生種の収穫 ・「枝豆（湯上がり娘）」晩生種の収穫
9月	・「白菜」・「大根」・「カブ」種まき
10月	・あおぞら保育園児による「サツマイモ」の収穫 ・町内会、子供会、会員（家族）による「サツマイモ」の収穫 ・「里いも」の収穫
11月	・仁井田中央会館にて「収穫感謝祭」
12月	・「白菜」・「大根」・「カブ」の収穫



一年に一度の 再会に歓喜

平成26年度土地連OB会
定例会開催される



3月7日、第15回目となる平成26年度土地連OB会定例会が秋田市「イヤタカ」で開催された。会員数78名のうち実出席が35名(委任状18名)であった。

定例会の冒頭に97歳で亡くなった会員への黙とうを行い、後藤至会長より、「天候は1月の寒に戻り体調の変化に気をつけるように、長寿は健康があって初めて達成できる」等の挨拶があった。



来賓挨拶として、水土里ネット秋田清野弘久専務理事より8月の豪雨災、9月の台風災に触れ、「平成19年の災害を上回る甚大な被害で本会職員も土日、年末年始の休みを返上して取り組んだ。OBの方々からも災害支援を頂き感謝する」と挨拶があった。

議案審議では、平成25年度事業報告及び収支決算の承認、平成26年度事業計画(案)及び収支予算(案)について審議され、何れも、原案どおり可決された。



次に、今年度で任期満了となる役員について改選が行われ、新役員の顔ぶれが決まった。(任期は平成27年度まで)

定例会終了後は、水土里ネット秋田猿田参事より近況報告があり、平成25年度水土里ネット秋田の運営状況等についての報告があった。

恒例となった懇親会では、一年に一度の再会を楽しみにしており、涙ぐむ会員の姿も見受けられた。次回も元気で出席して頂きたい。また会う日まで！

連
合
会
日
誌

2月6日	2014みやぎの農業農村復旧復興シンポジウム(～7日)	仙台市
2月6日	第1回秋田市農業大賞表彰式	秋田市
2月20日	本会第4回理事会、第2回役員会、本会第6回監事会	本会「第1会議室、第3会議室」
2月25日	平成25年度雄物・米代川地域広域基盤確立推進協議会総会	秋田市
2月27日	平成25年度交換分合推進対策研修	秋田市「秋田テルサ」
2月27日	都道府県土地改良事業団体連合会事務責任者会議	東京都
3月3日	秋田県農業集落排水連絡協議会担当者研修会	本会「第1会議室」
3月5日	全国土地改良事業団体連合会理事会	東京都「砂防会館別館」
3月7日	平成25年度構造改革推進ほ場整備全国研修会	東京都「都道府県会館」
3月18日	第43回土地連秋田支部通常総会	秋田市

今後の行事予定

3月27日	秋田県耕作放棄地対策協議会総会	本会「第1会議室」
3月27日	秋田県農地・水・環境保全向上対策地域協議会総会	秋田市「ふきみ会館」
3月27日	由利本荘市土地改良区予備契約調印式並びに祝賀会	由利本荘市

各種会議・委員会等の開催



秋田県21世紀土地改良区創造運動推進本部員会議

3月10日、平成25年度秋田県推進本部員会議を開催。運営委員12名が出席。平成25年度事業経過報告、平成26年度事業計画(案)などを承認。今年度は25地区の運動取組の報告があった。



秋田県管理円滑化事業推進委員会

3月13日、平成25年度秋田県管理円滑化事業推進委員会を開催。東北農政局担当者などの委員10名、幹事4名が出席。平成25年度土地改良施設管理円滑化事業実施状況、平成25年度土地改良施設管理円滑化事業収支決算、平成26年度土地改良施設管理円滑化事業実施計画(案)、平成26年度土地改良施設管理円滑化事業収支予算書(案)などを承認。



秋田県換地等強化事業推進委員会

3月13日、平成25年度秋田県換地等強化事業推進委員会を開催。東北農政局担当者などの委員9名、幹事4名が出席。平成25年度換地等強化事業実施状況、平成25年度換地等強化事業収支決算、平成26年度換地等強化事業実施計画(案)、平成26年度換地等強化事業収支予算書(案)などを承認。



基金管理委員会

3月17日、基金管理委員会を開催。出資会員などからの委員6名、幹事2名が出席。平成25年度業務報告、平成26年度業務計画(案)などを承認。基金創設から50年近くが経過したことから、基金運用に関する抜本的な見直しの検討を委員から提案された。

会員だより

新理事長就任のお知らせ

次の方々が新たに理事長に就任されました。

○北秋田市鷹巣土地改良区(H26.2.28)

理事長 成田 光弘

○由利本荘市子吉土地改良区(H26.3.25)

理事長 富樫 公一

名称変更のお知らせ

○仙北市角館町碓土地改良区

〔新名称〕

仙北市角館町雲然土地改良区

(H25.11.19から)

事務所連絡先変更のお知らせ

○仙北市田沢湖若松堰土地改良区

文書等送り先(H26.1.9から)

〒014-1114

仙北市田沢湖神代字古館野207-3

仙北市黒倉堰土地改良区

TEL.0187-44-3720

FAX.0187-44-3744



イメージソング♪

『水土里ネットのテーマ』完成♪

～聴覚から「水土里ネット」を広める～

水土里ネットのテーマ

作詞・作曲 渡部 絢也
監修 水土里ネット秋田

水土里ネット 水土里ネット
水・土・里って書いて
水土里ネット 水土里ネット
ふるさとを守ってる！

田んぼに水を 畑に水を
運んでいるよ水路
きれいな水を届けるためさ
ぼくら水土里ネット
水路のことはおまかせさ

水土里ネット 水土里ネット
水・土・里って書いて
水土里ネット 水土里ネット
水路を守ってる！

あっちこっち広がる
田んぼをまとめよう
形そろえて
見た目もホラきれい！
自慢の田んぼを未来へつなく
ぼくら水土里ネット
農地のことはおまかせさ

いのちあふれるふるさと
人・花・虫
ずっと仲良く生きていこう
だからぼくらがいる！

水土里ネット 水土里ネット
水・土・里って書いて
水土里ネット 水土里ネット
農地を守ってる！

ふるさとを守ってる！

「『水土里ネット』が地域の人たちにとって、もっと身近な存在になれば…」そんな思いから企画し、ようやく完成したのがこのイメージソング。制作目的として、まずは「水土里ネット」の存在自体を広く一般に広めようと、歌詞では「水土里ネット」というフレーズを多用し、また、「水土里ネット」がどんな役割を果たしているのかをわかりやすい言葉でまとめました。(ここでいう「水土里ネット」とは、土地改良区と土地連のこと)

計画から完成に至るまで、制作をお願いした渡部絢也さんと打合せを重ねたほか、本会の役職員やその家族の皆さんからの聞き取り調査、コーラスへの参加など多くの協力を頂きました。完成後は、職場内やOB会、各種会議等で積極的に紹介を行っています。また、今年度の総会に向けてパッケージ化して、各土地改良区へCDの配布を行ったところです。

今後は、本会主催の各種イベントや総会、推進大会で紹介するほか、テレビCMのバック音楽として起用、「農業農村整備フェア」等の広報活動での使用を計画しています。これから、広く一般に「水土里ネット」という存在が定着していくような活用方法を考えていきたいと思ひます。

〈アーティスト紹介〉



わたなべ じゅん や
渡部 絢也
(秋田市出身)

大学卒業後、地元金融機関に就職。3年間社会人経験を積んだ後、退職。音楽の道へ進むことを決意する。15歳からギターを手にし、僅か半年後から作曲活動を開始。現在までで300超の曲を作曲。地元を題材にした作品も多く、昨今の秋田を代表するシンガーソングライター。

- 2010年10月 「ちんあなごのうた」を発表。全国的水族館から反響が
- 2011年 8月 「ちんあなごのうたグッズ」が全国的水族館で発売開始
- 2011年11月 「秋田HATA☆HATA☆ROCK&SAMBA!!!」いせきあいさんとのコラボで人気に
- 2013年4月 iOSゲームアプリ「ちんあなごのうた 南の海の音楽祭」をリリース
- 2014年 秋田県で開催される「国民文化祭」のテーマソングの歌い手に決定！

